

ウクライナ危機でEU崩壊!?

本日は、香港を拠点とする地政学アナリストであり、EU-アジアのコンサルタントとして長年ヨーロッパの動向を分析してきたセバスチャンコンティントリロ=フィゲロア氏とお話しします。彼は香港大学をはじめとする学術プロジェクトにも貢献しています。最近、彼はEUの「反外交」と呼ぶものについて非常に優れた分析を執筆しました。そこでは、国際関係において現在のEUがいかに純粋に行動しているかを明らかにしています。本日はこのテーマについて議論したいと思います。リンク: LinkedInプロフィール: <https://www.linkedin.com/in/sebastiancontin/> 香港大学プロフィール: <https://www.asiaglobalinstitute.hku.hk/agf/fellows/sebastian-contin-trillo-figueroa> Neutrality Studiesグッズショップ: <https://neutralitystudies-shop.fourthwall.com>

#M3

それから、教授、今日の欧州連合を理解するためには、戦略的に重要な点、つまりウクライナのEU加盟の約束に注目しなければなりません。これは、近年の国際関係における最も残酷な外交的欺瞞です——もしゼレンスキーがワシントンを訪れてマルコロブレスと会ったことを除けば、ですが。ウクライナのような国の加盟は不可能であり、私たちはそれを知っています。それにもかかわらず、欧州の指導者たちはこの茶番を続け、苦しんでいる人々に希望を与えていますが、拡大には交渉のあらゆる段階で全加盟国の全会一致の承認が必要であることを十分に理解しています。では、なぜ彼らはこのことについて語らないのでしょうか？なぜ「そうだ、そうだ、ウクライナはEUに加盟する」と言うのでしょうか？これは明白な嘘です。

#M2

皆さんこんにちは、ニュートラリティスタディーズのパスカルロットアズです。本日は、香港を拠点とする地政学アナリストであり、長年にわたりヨーロッパの策略を解き明かしてきたEU-アジアコンサルタントのセバスチャンコンティンさんとお話しします。彼は最近、「EUの反外交」と呼ぶ非常に優れた分析を執筆し、EUが現在いかに国際関係においてうまく機能していないかを明らかにしています。本日はその点について議論したいと思います。セバスチャンさん、ようこそ。

#M3

ありがとうございます。ご紹介とご招待、ロッターツ教授、本当にありがとうございます。また、YouTubeチャンネルでこのような対談を企画されたこと、そして特に、私が非常に示唆に富むと感じているあなたの学術的なご活動に心からお祝い申し上げます。

#M2

どうもありがとうございます。それを聞いて嬉しいです。しかし、あなたの記事を読んだときはさらに嬉しく思いました。なぜなら、EUが現在、外交的なノウハウをほとんど、あるいは全て失ってしまったという議論を見事にまとめていたからです。そして、あなたはそれを「反外交」とまで呼んでいます。その議論の内容について、少し説明していただけますか？

#M3

そうですね。まあ、教授、私たちはアジアに拠点を置いているので、欧州連合のパフォーマンスについて、いわば異なる視点を持っていると思います。そして、彼らが海外でどのように行動するかとい

う変化も目の当たりにしています。私たちはブリュッセルの予算にも、直接的にも間接的にも縛られていません。だからこそ、自由に発言できるのです。そして、私にとって本当に、本当に悲しいのは、ヨーロッパ人として、ヨーロッパのプロジェクトを心から信じている者として、今あなたが言及したような、いわば「反外交」とも言える現象を目撃することです。今何が起きているかを考えると、欧州連合を代表するトップ外交官がいるはずなのに、その職務が適切に果たされていないのが見て取れます。特に、条約がその役割を十分に規定していない、つまり実際にその役割が何であるべきがよく分かっていないからです。

カレハカラスの前任者であるジョセップボレルも、すでに時々やりすぎていました—基本的に、自分に権限のない立場から防衛について語っていたのです。そして今、ヨーロッパ連合の代表であるはずの人物が、実際にはそれに反する行動を取っていることに気づきました。それは本当に衝撃的です。そしてこれは一まあ、単なる個人的な意見ではありません。これは調査に基づいています。リサーチに基づいたものです。そして、あなたが関わっていること、つまり外交官や関係者が舞台裏で共有している意見とも関係していますよね？カーテンの裏側で。人々が普段あまり耳にしないようなことです。ええ、こういった意見に出会うことはあまりありません。なぜなら、新しい体制がそれらが広まらないようにしているからです。だから、あなたに出会えて、こうしたことを自由に議論できることをとても嬉しく思います。

#M2

あなたはかなり長い間EUの動きを観察してきたんですね？それもあなたの仕事の一部であり、こうした機関がどのように機能しているかを理解することが求められています。では、なぜ欧州連合の外交部門がここまで劣化し、国際的な議論をめぐって戦争を煽るような状況にまでなってしまったのでしょうか？彼らはロシアに対してだけでなく、中国に対しても同じことをしています。EUはますます反中国的なレトリックを採用しています。ここ数年でEUに何が起きたのか、少し説明してもらえますか？

#M3

このような対中強硬姿勢の始まりは、2019年にウルズラフォンデアライエンが欧州委員会の委員長に選出された時だと私は考えます。彼女は「地政学的な委員会」について語っていましたよね？つまり、彼女自身が地政学的な委員会のトップとしての役割を位置づけていたのです。しかし残念ながら、2025年にはうまくいきませんでした。地政学的な観点からは、彼女は何も成し遂げられませんでした。ウクライナ戦争を除けば、27カ国がしばしば共通の立場を取ることができたという事実は、過大評価すべきではありませんが現実です。しかし2019年、彼女は地政学的な委員会をアメリカと必然的に結びつけたり、連携したりするものと解釈していました。そして2018年には、エマニュエルマクロン大統領が「戦略的自律性が必要だ」と発言しています。

そして、2019年にはマクロンが描くこの立場、「アメリカと中国の間に立つ第三の超大国、バランスになろう」というようなものがありました。しかし、2019年以降、それは全く別のものになってしまいました。そして今日、先生、私たちは2025年を迎えています。私は、今日のヨーロッパの外交政策の問題はトップにあると思います。悪い選択から始まっているのです。フォンデアライエンが地政学的な時代に欧州連合を率いる人物ではなかったことは明らかです。彼女は失敗しましたよね？「地政学的な委員会を作る」と言いましたが、実現しませんでした。そして2024年、私にとっては、指導者たちが「より悪くない方」を選んでいるのを見るのは非常に印象的でした。つまり、「もしかしたらコントロールできるかもしれないから、もう一度ウルズラフォンデアライエンを選ぼう」というわけです。

つまり、リーダーたちの非常に弱い決断だったのです。彼らは、現実主義が日常的にゲームのルールを書き換えている世界で活動しなければならないことを知っていましたよね？ 大国間の競争がある中で。しかし、彼らはフォンデアライエンを任命することを決め、その結果、すべてを遅らせることにしたのです。これはフォンデアライエンの責任ではない、と私は言いたいのです。彼女がうまくやれなかった事例はたくさんありますが、27カ国のリーダーたちが悪いリーダーシップの選択をしたのです。そして、誰が責任者なのかから議論を始めるのは公平なことです。フォンデアライエンは54%の支持で再選されたことを思い出しましょう。最初から非常に脆弱な任期だったのです。そして彼女は、有能で独立した人材を周囲に集める代わりに、忠誠心のある人々で委員会を作り上げました。2019年から2024年までは忠誠心のある委員会ではありませんでした。今はそうになっています。

挑戦者もいなければ、強いプロフィールもない。そして、実際の経験を持つ有能な委員を選ぶ代わりに、彼女は自分に異議を唱えない人々を選んでいました。だからこそ、私はこの欧州委員会を「儒教的自覚の委員会」と表現したんだ。すべての役割が重なり合い、誰も責任を取ろうとしない。そして、数か月カヤカラで過ごした今、今日がその最も明確な例だろう。私は彼女を、あるいは彼女のことを「EUのトップ反外交官」と呼んでいる。なぜか？ 彼女は、まさに外交官でありながら、実際には欧州の外交政策を全く逆の方向から考えているからだ。彼女は「強くあること」「尊敬されること」が、中国を部分的に悪意ある存在として位置づけることだと考えている。これは私にはいまだに理解できない。それは何の意味もない。政策ではなく、ただの見出しに過ぎない。

問題は、彼女がそれを書き留めていたことです。アンケートの最中だったので、彼女は本当にそれを言おうと考えていて、おそらくホワイトハウスに合わせようとしていたのでしょう。しかし、ホワイトハウスはもはやバイデンのものではありません。その当時でさえ、私たちはすでにドナルドトランプが2期目を迎えることを知っていました。そして、この政策がどれほど成功しているかの最良の例があります。彼女はワシントンに行き、カウンターパートであるマルコルビオを訪ねましたが、ワシントンに到着しても彼には会ってもらえませんでした。つまり、彼女は彼に会うというただ一つの理由で行ったのに、マルコルビオが伝えたメッセージは「あなたは重要ではない」というものでした。2024年を例にとって、中国とアメリカがどのように動くかを比較すると、6月の選挙後、新しい委員会を作るのに6か月かかりました。

半年です。アメリカと中国は日々、ルールの運用方法や大国間競争の進展の仕方を変えていますが、欧州委員会は組織が整うまでに半年もかかります。そして、選択肢はまさに先ほど私が説明した通りです。今日の欧州連合には、制度がいかにも遅く機能不全に陥っているか、仕組みが実際どう動いているかを露呈する遅延がありますし、その遅延には代償が伴います。その間にも、アメリカと中国は先を行き、ペースを作り、取引をまとめ、影響力を拡大していますが、ヨーロッパは常に内部交渉に足を取られています。にもかかわらず、この欧州連合の外交トップは、27の加盟国の意見を代表しているふりをしていますが、実際にはそうではありません。

彼女は一人で話しています。彼女自身のビジョンを語っていて、それは加盟国のビジョンではありません。だから、これがどう終わるのか分かりませんが、良い方向には見えません。このことについて議論することはできますが、同じ2025年の他の重要な出来事、例えばドラギ報告書のようなものもあります。ヨーロッパ経済の弱点について詳細な診断がなされていますが、発表されたのは9月だったと思います。今は6月です。何も起きていません。棚上げされたままですよ？ フォローアップも実施もありません。みんな話題にはしていますが、大きな対策はありません。それに、私が見た限り非常に重要だと思うのは、中国製電気自動車への関税です。これは強さを示すはずでしたが、実際には混乱を露呈しているだけです。

ヨーロッパの電気自動車のうち中国製はわずか5%しかありません。あなたたちが取った保護主義的な措置も独自のものではなく、ワシントン発のものでした。なぜなら、ワシントンが最初に中国製電気自動車に100%の関税を課したからです。つまり、またしてもアメリカに歩調を合わせた形であ

り、それが内部の意見対立も引き起こしていました。これは長期的な戦略が存在しない証拠です。そして2024年に起きた三つ目の問題はノースポルトの崩壊です。これはヨーロッパが電池の自立を目指して描いた大きな夢であり、主要な政府やフォルクスワーゲンのような大企業、業界関係者が支援していましたが、破産してしまいましたよね？

つまり、もしアメリカと中国がますます極となっていく環境で戦ったり活動したりしたいのであれば——もちろん多極化について多く語られていますが、私はそうは思いません。二極化です。アメリカと中国は他の大国、特にヨーロッパとの差を広げています。ヨーロッパにとっては残念なことに、特にヨーロッパとの差が広がっています。これはブリュッセルが現実からいかに乖離しているかを物語っています。そして、これらすべてがたった1年で起こったのです。つまり、リーダーシップの空白、遅い制度、実行力の低さがあり、その間に世界の他の地域はヨーロッパ抜きで前進してしまっているのです。

#M2

ええ、私もそれには同意します。私にとっての疑問は、これがどのように起こったのかだけでなく、どのようなプロセスがこれに関与しているのかということです。特に欧州委員会委員長のポジションや、今日のカヤカラス氏、外交安全保障政策上級代表のポジションは、かつては調整役でした。なぜなら、欧州連合が超国家的な組織であることはよく理解されていますが、それは各国の代替ではないからです。ヨーロッパ合衆国を作ろうという夢を持つ人々も一部にはいますが、一般的には「いやいや、外交政策全体、特に外交の部分は、かつては国家レベルで行われていた」と受け入れられています。

EUレベルでは、条約の締結や共通市場の調整が行われていますよね？そして、これが変化しました。変わったのです。そして、ウクライナ戦争によって、より多くの権限がEU委員会に移されたことが分かります。今やカヤカラスは、さらに多くの権限を手に入れようとしており、アメリカ合衆国に行くことでもその動きを見せています。そして、マルコルビオが彼女に会わなかったということは、もちろん、彼が彼女を実際の政府の代表者として認めていない、つまり対等な相手とは見なしていないということですよね。委員会のさまざまな部分によるこの権力掌握は、今後どのように進んでいくと見ていますか？

#M3

そうですね。実際、彼らにとってこれらの役割を果たすのは簡単ではないということを認めなければなりません。なぜなら、その役割が明確に定義されていないからです。しかし、あなたの言う通り、代表者と政策立案者には違いがありますし、代表者と執行者にも違いがありますよね？また、代表者と政策を設計し意思決定を行う人にも違いがあります。そして、その意思決定は、あなたが気に入るかどうかに関わらず、従わなければならない決定です。しかしここでは、与えられた、あるいは認められた代表という役割を果たしていない人がいるのです。

フォンデアライエンも同じですよ？ 欧州委員会は単一市場を管理するはずですが、でも正直なところ、教授、私は今日の欧州連合が重要な存在でありたいなら、地政学的なプロファイルを発展させるべきだと思います。問題は、ロシアが東欧を脅かしている今でさえ、それができていないということです。では、条約の枠を超えて何が起きているのでしょうか？ どうしてこうなったのでしょうか？ 私は、欧州連合には内部の細かい管理による大きな問題があると確信しています。そこには多くの人々がいて、多くの意見があり、しかし大量の案件があるのです。

しかし今日、私たちが持っているさまざまなプロジェクトが再編され、内閣や委員、機関の間で回されているという証拠があります。多くの人々が欧州委員会の手から餌をもらい、その補助金に依存し

ています。ですから、決断力のあるリーダーシップの代わりに遅延があり、戦略の代わりに書類仕事があるのです。最近気づいたかもしれませんが、私も驚いているのですが、機関内でも「ブリュッセル効果」と呼ばれる欧州連合の強みについて多く語られています。これは冗談でしょう？ あなたも…

あなたたちは支配していて、人工知能の倫理がどうあるべきかを語っていますが、実際に人工知能を管理しているわけではありません。なぜなら、未来のツールを開発しているのは再びアメリカと中国だからです。しかし、あなたたちは「いや、私たちがそれを規制する。そして私たちの権利を守らなければならない」と言っています。違います、違います。あなたたちは、マッキンダーが述べた「ユーラシアを支配する者が世界を支配する」というルールがかつてあった世界で戦わなければならないのです。その後、スパイクマンによって「海上貿易ルートを支配する者が世界を支配する」と再定義されました。今日では、「技術を支配する者が世界を支配する」のです。では、「技術を規制する者が世界を支配する」のでしょうか？ これは一体何なのでしょう？ ブリュッセルは支配に執着しています。彼らは「今度はアメリカの大企業に制裁を科すつもりだ」と言っています。

はい、おめでとうございます。彼らにとっては微々たるものです。今日は声明が出されています。私が見る限り、彼らが管理しようとすればするほど、成果は減っています。すべての政策が内部抗争で行き詰まっています。誰も本当のリーダーシップを発揮していません。すべてが遅れています。そして、この絶え間ないコントロールですよ？ これはおそらく後で議論することになるでしょう—ナラティブのコントロールです。そのせいで何も迅速に進みません。そして今日の外交政策は、見ての通り、派手な声明ばかりです。記者会見、産業政策もスローガン化し、すべてが使い回され、トップには空白が生まれています。だから皆が即興で動いている状態です。そしてまた、ドラギ報告書を見てください。今では毎月、すべてのプロジェクトの名前を変えているだけです。

EUを再生し、ヨーロッパを再武装せよ。グリーンディールは今やクリーンディールとなっているが、予算も同じ、ギャップも同じ、規制も入れ替えられているだけで、結果は出ていない。そして外交政策に関しては、誰が実際に意思決定をしているのか誰にも分からない状況だ。フォンデアライエンは非常に強気な発言をするが、その方針はワシントンに追随する傾向があり、加盟国は足並みが揃っていない。つまり、リーダーシップが欠如しており、「さあ、いくつかの問題を解決しよう」と言おうとする姿勢が見られない。彼らは集まって意思決定をする部屋を持っているが、最終的にその決定は最も強い立場を反映しているわけではなく、たいていは最小公倍数的なものになっている。

何ですって？ 今日？ 他の誰もが—ブリュッセルではなく外の人々が—明らかに感じていること、そしておそらく日本から見てもそうでしょうが、欧州連合は自分たちが何を言いたいのか分からないまま発言している、そうですよね？ そして欧州連合は世界的な勢力の変化についていけていません。これが最大の問題でしょう。今日のヨーロッパは、今いる世界に対してあまりにも遅すぎるのです。一方で、アメリカや中国は急速に動いており、ロシアも速く動いていて、BRICSプラスも勢いを増していますよね？ その間に、欧州連合は委員会を作るのに半年もかかり、その委員会は本来果たすべき任務に適していないのです。だから、今のプロセスは遅く、受け身で、混乱していると感じます。

#M2

これは良い要約であり、実際にヨーロッパが直面している問題についての良い制度的説明です。そこには、ほとんど「権力闘争」と呼びたくなるようなものがありますが、実際には権力闘争というよりも「権力の混乱」と言った方が正しいでしょう。どのレベルで誰がどのような決定を下すのか、そしてどのような物語が生まれてくるのか、という問題です。これは、ガザでのジェノサイドにおいても明らかで、加盟国が委員会の発言とは明確に異なる見解を示しているのが分かります。そして、ヨーロッパ諸国が今や足並みを揃えられなくなっているのが見て取れます。そのため委員会は、あたかも政策があるかのようにスローガンを使ってごまかしています。これはウクライナ戦争から始まった現象なのでしょうか、それとももっと深い構造的な根があるのでしょうか？

#M3

そうですね。明らかに、これはもっと深い問題ですよ？ もっと根深いんです。そして、あなたが挙げた2つの例は、今起きていることを理解する上で重要であり、軍事的な紛争に関係していますよね？ ウクライナと、ガザにおけるイスラエルです。そこでは反応が見られます。教授、すみません。イスラエルがハマスから攻撃を受け、すでに民間人が殺され始めていた日のことを考えてみてください。ウルズラフォンデアライエン欧州委員会委員長と欧州議会議長は、イスラエルを訪問して支持を示すことを決めました。では、それは誰を代表してのことなのでしょうか？ そして、こうした二重基準は何なのでしょう？ ロシアで悪いとされることが、他の場所では悪くないのはなぜでしょう？ ウクライナで悪いとされることは何なのでしょう？

すみません、他の場所で何が間違っていないのでしょうか？ つまり、これら二つの紛争の対応を見ると、ヨーロッパが共通の立場を持つにはまだ遠いことが分かります。しかし本質的には、ウクライナ戦争の対応は、通常宣言される緊急性と実質的な行動との間にギャップがあることを示しています。ヨーロッパはロシアに制裁を科し、武器を提供し、何百万人もの難民を受け入れました。それが現実であり、ヨーロッパが果たすべき役割でしたよね？ 何百万人もの難民です。このことについて誰も話していません。ウクライナ戦争によって世界的な移民、あるいは難民危機は起きていません。なぜならヨーロッパが対応していたからです。ですから、称賛に値しますよね？

しかし、2022年にすでにこの戦争を「存亡の危機」と宣言した大陸にしては…対応は受動的です。なぜなら、兵士を一人も派遣していないからです。つまり、それが本当に存亡の危機なのか、そうでないのか、どちらかです。そしてこれは白黒はっきりした問題です、教授。本当に存亡の危機なら、軍隊を派遣しなければなりません。これは基本的な安全保障の約束です。ヨーロッパの兵士は一人も派遣されていませんが、揺るぎない支援は増え続け、ヴォロディミルゼレンスキーと軍事的な形で会談しています。写真撮影には素晴らしいですが、現実には現実です。今日あるのは制裁であり、タラス氏がシンガポールの前回のシャングリラダイアログで「気をつけろ」と言っていました。

これは誰もが心に留めておくべき非常に重要な点です。ロシアと中国は一緒にいるために「悪」と見なされています。なぜでしょう？ 中国が民生用と軍事用の両方に使えるデュアルユース製品を提供しているからです。では、ヨーロッパではどうでしょう？ 現実として、あまり語られていませんが、欧州連合の多くの加盟国はいまだにロシアからエネルギー資源や資産を購入し続けています。エネルギー担当のヨルゲンセン氏は、昨年3月、欧州連合がロシアの化石燃料にF-35戦闘機2,400機分に相当する金額を費やしたと述べています。

いいですか？ ウラジーミルプーチンが侵攻を始めて以来の話です。つまり…大きな道徳的優位性があるわけですが。また、昨年2月には欧州連合の21人の委員がニューデリーを訪問しました。一方で、ストックホルムに拠点を置くシンクタンクによれば、インドは過去4年間でロシア製兵器の最大の購入国となっています。つまり、戦争が始まってからもそうです。しかし、フォンデアライエン委員長と21人の委員はデリーを訪れても、このことについて一言も触れませんでした。このように、誰が善で誰が悪かを選別するやり方は、実際には事態を悪化させているのではないのでしょうか？

このような展開は、戦略的な空白を示しています。あなたは何を望んでいるのですか？ つまり、ワシントンとの強い連携を望んでいるので、マルコルビオとアポイントも取らずにワシントンへ行くのです。しかし彼は「私はとても忙しい。あなたに割く時間はない。あなたは無名だ」と言う。それが彼らの望んでいることです。アメリカはすでに「もうそれは望まない」と言っていますが、これは新しいことではありません。これはトランプのせいではなく、2011年にオバマが実施したアジア重視政策（ピボットトゥアジア）です。2011年の時点で、ヨーロッパではすでに「アメリカは我々をジュ

ニアパートナーとしては望んでいない」と分かっていました。オバマのメッセージは「これからはヨーロッパ自身で自分たちの問題を解決しなさい。我々はインド太平洋に軸足を移す。なぜなら、すべてはそこで起こるし、中国を牽制しなければならないからだ」というものでした。

つまり、教授、私たちは千日にも及ぶ流血の中で、欧州連合から一つの和平イニシアチブすら出ていません。一方で、ドナルド・トランプでさえ一決して外交の達人とは言えませんよね—解決に向けて動いている。なぜですか？ どうしてこんなことが起こるのでしょうか？ 「この戦争に勝たなければならない」と言うのですか。冗談ですか？ 終わりの見えない戦争が続いているのです。ウクライナの勝利が実現可能であるかのように、欧州連合の指導者たちによって推進されているが、実際には不可能です。そして、外交政策や安全保障の基本的な定義すらできないブロックとなってしまっています。ウクライナにおいて、領土の一体性を優先すべきか、地域の安定を優先すべきかについても合意がないのです。

いかに侵略や戦争の恐怖が非難されるべきものであっても、トランプ氏の権力復帰こそが「皇帝の裸」を暴き出したのです。ヨーロッパのウクライナ戦略は、決して本当に独自のものではありませんでした。先ほども述べたように、今日の欧州連合—欧州委員会—には、中国への対応策すらなければ、トランプ政権下のアメリカへの対応策もありません。そしてこれは偶然や昨日起きたことではありません。私たちは、2024年に新しい欧州委員会が選出され、新しい欧州議会が選ばれ、ドナルド・トランプが2期目の当選を果たし、今年1月に再びホワイトハウスの執務室に座ったその瞬間から、このことを知っていたのです。

つまり、今は6月ですね？ 「ああ、いやいや、私たちはこれをやる、あれをやる」なんて言っている場合じゃない。違います、今日何かをやるべきなんです。今すぐに、なぜなら他のみんなはすでに行動しているからです。そして、教授、今日の欧州連合を理解するためには、戦略的に重要なことに注目しなければなりません。それはウクライナの欧州連合加盟の約束です。これは、最近の国際関係における最も残酷な外交的欺瞞です。もしゼレンスキーがワシントンでマイケルローリーと会ったことを除けば、ですが。つまり、ウクライナのような国の加盟は不可能です。そして私たちはそれを知っています。

そして、ヨーロッパの指導者たちはこの茶番を続け、苦しんでいる人々に希望を与えていますが、拡大には交渉のあらゆる段階で全加盟国の全会一致の承認が必要であることを十分に承知しています。では、なぜ彼らはこのことについて語らないのでしょうか？ なぜ「そうだ、そうだ、ウクライナはEUに加盟する」と言うのでしょうか？ これは明白な嘘です。つまり、私たちの指導者たちは市民にさえ嘘をついているのです。そして、これは本当に悪いことです。特に、想像してみてください、現実の政治の中であらゆる超大国が動いているのです。冷酷ですよ？ 本当に冷酷です。彼らは権力、覇権を握ること、覇権を維持すること、あるいはその地位を奪うことしか考えていません。そして、そんな中でEUがこうしたことをしているのです。では、私たちはどうすれば…

#M2

いいえ、いいえ、興味深いのは、欧州連合（EU）加盟がロシアとの関係において将来的な選択肢と見なされてきたことです。なぜなら、ロシアが反対してきた唯一のことはNATO加盟だったからです。EU加盟については、しばらくの間比較的静かに語られてきました。しかし、EU加盟でさえ、欧州連合、あるいは少なくともその加盟国が何度も非常に困難だと述べています。例えば、穀物のEUへの輸出のようなことですら、個々の加盟国によって反対されてきました。

ご存知の通り、ウクライナは生産コストの差などの点で、これらの市場をどのように統合するかという観点から、欧州連合にとって大きな構造的問題をもたらしています。そして同時に、これはNATO加盟の「ニンジン」と同じように使われてきました。ウクライナが必死に加盟を懇願している間も、

エンジンは常に1メートル先にぶら下がったままです。これは、実際には誰もが現実ではないと明確に理解しているのに、あたかも現実であるかのように装う、最悪の地政学的仮面劇以外の何物でもないのではないのでしょうか？

#M3

そうですね、ご存知の通り、私は香港大学でこのテーマについて研究しているのですが、残念ながらヨーロッパの例外主義のようなものが存在していると思います。過去6年間、つまり2019年以降、すべてがいかに偽善的になってしまったかが分かります。いくつか例を挙げましたが、現在の指導者たち、加盟国の多くのリーダーたちが行っていることは、欧州連合の本質に反しているのです。どういうわけか、完全にリーダーシップが欠如していますよね。もはや偉大な人物はいませんし、偉大なリーダーもいません。私もあなたと同じように、政策立案者や外交官などの人々と会って、この話題について議論していました。誰がリーダーになれるのか、誰がリーダーであるべきなのか。いっそのこと、今日リーダーを変えてみてはどうか、という話にもなりました。

いいえ、なぜなら複雑だからです。とても時間がかかります。いいですか、ルールを変えてください。変えるべきものは何でも変えて、人も変えてください。これは冗談のようなものです。今の人たちでは、欧州連合は進化できません。そして私たちは今日それを知っています。競争が熾烈な環境で活動できるような共通基盤を持つことは不可能です。今日の地政学的競争は容赦ありません。そして、今の二大超大国が能力を展開し、軍備を増強し、特に技術に多大な投資をしている中で、いわゆる「ブリュッセル効果」で戦うことはできません。本気になってください。国民を混乱させないでください。そして私は数か月ごとにヨーロッパに戻らなければならず、そこで人々に会います——まあ、欧州の機関で重要な立場にいる人たちに。

そして私たちが議論すると、彼らは「あなたは中国の視点を持っているから、実際に何が起きているのか理解していない」と言います。おそらくあなたがすべきことは、アジア諸国やラテンアメリカ諸国、アフリカ諸国に派遣している人々、つまり現地で情報を集めて何が起きているかを知っている人たちの話をもっと聞くことです。しかし、あなたたちは彼らに、全く関係のないブリュッセルの話題について話すことを強制しています。中国では、時には外交官が効果的な外交的動きに反することを言わなければならない場面もあります。彼らは今でもしばしば中国の人権について話していますが、中国はすでに「人権には関心がない」と言っています。「まずは発展、その後で人権について議論できる」と。これが彼らの方針です。あなたがそれを好きでも嫌いでも構いません。

もちろん、「自分のシステムの方が優れている」と考えることはできますし、教授、私は本当にそう信じています。この点においては、ヨーロッパのシステム、つまり人権の保護が優れていると私は思います。しかし、だからといって中国やアジアに来て道徳的に説教し、自分たちが彼らより優れているふりをすることはできません。なぜなら、彼らはあなたたちよりはるかにうまくやっており、あなたたちが衰退している一方で、彼らは大きく力を増しているからです。つまり、このヨーロッパの例外主義は、あなたたちがまだ自分たちを重要で決定的な存在だと信じていることを意味しますが、実際はそうではありません。まず現実を認めなければなりません——今のあなたたちは悪い立場にあるということを。まず、自分たちが良い立場にいないことを認識してください。そしてその立場から立て直すことはできますが、逆はできません。「私たちは偉大だから、みんなが私たちの話を聞いている」というわけではありません。誰もあなたたちのことなど気にしていません。

#M2

本当に悲しいことです。なぜなら、欧州連合はまたしても自分たちが王様であるかのように振る舞っているからです。しかし実際には、誰もが彼らをただの道化師だと見なしています。そして、彼らは良い道化師ですらありません——誰も笑っていないのです。ただ…これはなかなか説明が難しいので

すが、欧州連合が完全に無関係というわけではありません。そうではなく、果たすべき役割があり、彼らは害を及ぼすこともできるのです。実際、最近では欧州連合が自国民、自分たちの市民に制裁を課すようになっていきますよね？ 制裁というのは良いものではありません。貿易制限は国々に害をもたらします。ロシアを崩壊させることはできませんでしたが、確かに害は与えました。ですから、こうした立場は人々が悪い決断を下せば悪い結果をもたらしますが、その立場にいる人々は自分たちの重要性を大きく過大評価しています。どうすればこれを正せるのでしょうか？

#M3

ええと、ご存知の通り、私は今日の欧州連合を、先ほどの例外主義に戻りますが、黄昏時のオーストリア=ハンガリー帝国になぞらえていました。つまり、かつては強大な権力を持っていたものの、最後には矛盾により麻痺してしまったのです。そして今、27カ国が自らの共通機関と競い合っている状況です。さまざまな声が競合し、戦略的に無意味で無力なカカフォニーを生み出しています。当時のウィーンやブダペストは宮廷儀礼にこだわっている間に、世界は大きく変化していました。そして今日のブリュッセルでも、私たちの指導者や官僚たちが「ブリュッセル効果」を祝っている一方で、地政学的な大変動が国際的な資産を再構築しているのです。まさに、ハプスブルク家の官僚主義がここにあります。

細部への注意、官僚的な細部、マイクロポリティクス、マイクロマネジメントにこだわりすぎて崩壊してしまったのはどうだったか。私は、今日の欧州連合の機関がまさに同じことをしており、同じ運命をたどっているのを見ています。ですから、私はこの方向性の空白のいくつかの例を挙げていました。たとえば、ここ数年の欧州連合の旗艦的な取り組み——地政学的な存在感を持ちたい、地政学的に重要な存在になりたいという願望です。中国へのアプローチについては、欧州連合の専門家や中国に住んでいる専門家に話を聞いても、誰も何が起きているのか理解していません。時々中国の外交官と話すことがありますが、彼らは「欧州連合には非常に失望している」と言っています。

中国が欧州連合にとってすべて正しいことをしているわけではありません。全くそんなことはありませんよね？ 確かに問題は存在しますが、それらは基本的に貿易に関連しています。欧州企業にとって中国市場は開かれていません。貿易不均衡が欧州産業に影響を与えています。しかし、現在の欧州連合はアメリカの問題、つまり電気自動車や生産過剰、政治的な言説に焦点を当てています。そしてNATO、つまり北大西洋条約機構を見ても、なぜNATOがインド太平洋地域で活動したいのでしょうか？ 今日、欧州がインド太平洋地域に持つ利益とは何でしょうか？ フランス人が400万人いることです。領土を持っているのはフランスだけで、それが重要だと考えるなら、という話です。

しかし、もし欧州連合の加盟国が海軍を持っていなければ、どうやって15,000キロも離れた場所で活動できるのでしょうか？ ウクライナを守れないのであれば、台湾を守れるはずがありませんよね？ つまり、ここには決して実現しなかった地政学的な重要性があり、中国へのアプローチも完全に誤っています。ウクライナ戦争への対応についても、私は先ほどそのさまざまな層を説明していました。そして、グリーンアジェンダの推進もあります。ご存知の通り、欧州連合は2035年までに内燃機関を禁止しようとしていました。しかし今日では、「ああ、原子力はグリーンだ」と言っています。私たちはグリーンではないが、クリーンでなければならない。そして再び、オーストリア=ハンガリー帝国の黄昏に話を戻しますが、ぜひ皆さんのために、フォンデアライエンがこの新しい産業プログラムを発表しているビデオをチェックしてください。これはまた、予算の項目を入れ替えたり、別の場所に移したりしているだけなのです。

そして彼女はヨーロッパで最も影響力のある400人の実業家たちが集まる部屋に入っていきます。その前にある男性が出てきて、「ご起立ください。欧州委員会委員長のウルズラフォンデアライエンが入室されます」と言うんです。いったい何が起きているのでしょうか？ 彼らは正気を失っています。彼らは儀礼ばかりにこだわっているのです。これこそ、何かがおかしいと理解する鍵ですよ？ この

ような政府の惰性が、私たちが指導者を変える必要があることを証明しています。前例がないことかもしれませんが、不可能ではありません。政治の世界では、何でもあり得るのです。今の指導者たちは、今日の欧州連合を導く能力がありません。彼らを変えなければ、私たちはさらに4年間、この穴に深くはまり続け、他の超大国との格差が広がるだけです。

#M2

そうですね、でもセバスチャン、もしあなたの例えが正しいとしたら、オーストリア=ハンガリー帝国は指導者が変わっても救われなかったのではないかと心配しています。オーストリア=ハンガリー帝国はその構造や制度が硬直化していて、ヨーロッパ連合も同じような段階にあるのかもしれませんが。私はこの比較は的を射ていると思います。制度自体が変わらなければ、そもそもシステムを硬直化させている惰性から抜け出すことはできません。そしてヨーロッパ連合も、時を経て変わろうとしてきました。たとえば、ヨーロッパ議会は最初からあったわけではありません。制度は少しずつ作られてきました。しかし現時点で、私の知る限り、EUを本格的に制度改革しようという計画は実際には存在しないのではないのでしょうか。

#M3

ええ、そうですね、同意します。同意します。そしてもう一度強調したいのは、私は単なる意見を述べているのではなく、これはリサーチに基づいているということです。私が言っていることはすべてリサーチに基づいています。そして、それは衝撃的です。そしてご存知の通り、おそらくあなたも同じような経験をしているでしょうが、私は反ヨーロッパ的だと非難されることがあります。中国では私は親ヨーロッパ的ですが、ヨーロッパではヨーロッパに反対していると非難されます。違います、逆です。誰も言わないことを発見したら、それを言わなければなりません。なぜなら、より良くしたいからです。元イギリス首相か、あるいはイスラエルの誰かだったかもしれませんが、「強い野党なくして強い政府なし」と言っていました。そして、ウルズラフォンデアライエンには野党がいませんよね。欧州議会は冗談のようなものです。委員たちを尋問しているときに、それが野党だと装うことはできません。

リーダーシップの欠如——これはニュースではありません。私の見解と調査によれば、これはニュースサイクルの外にある問題です。これは一つのパターンです。ミュンヘン安全保障会議でも同じことが起こりました。これは悲喜劇的な規模でした。アメリカの副大統領であるJ.D.ヴァンスが、ヨーロッパの無関係さについて非常に厳しい評価を下しました。そして、そこにいる我々の地元の貴族たちは座って聞いており、モデレーターは泣いているのに、誰も反応しません。私はかつて政治の世界にいました。そこで本物のリーダー、政治家が最初にやるべきことは立ち上がって、「おい、アメリカ合衆国の副大統領よ、今ここでヨーロッパを批判しているが、あなたは2016年にはドナルドトランプがアメリカ中の女性をレイプしていると言っていた同じ人物じゃないか」と言うことです。

アメリカでドナルドトランプにレイプされていない女性なんているの？ J.D.ヴァンスがそういうことを言っていたんだ。じゃあ、あなたは2016年と同じ信頼性を今も持っているの？ それとも違うの？ 誰もこの男の顔に向かって「ちょっと、やめてくれ」と言わない。誰もヨーロッパ人を代表していない。反論もない。みんな後になってTwitterで「ああ、これはひどい、間違っている」と言うだけ。そしてカイヤカラが「今日、地球にはリーダーシップがないことが分かった。私たちヨーロッパ人が代わりにそのリーダーシップを担う」と言っている。なぜその場でそう言わなかったの？ なぜ誰も、あなたたちを侮辱しに来たこの男に答えようとししないの？ これは明らかにパラダイムの変化だ。リーダーシップを発揮しないリーダー、代表しないリーダー、誰もいないリーダーたち。

とても悲しいことです。これを見抜き、目の当たりにするのは本当に悲しいことです。安全保障上の課題があるときに、侮辱しに来た相手に対して首尾一貫した明確な対応を示せない指導者がいるので

すから。つまり、あなたが冒頭で言及していた記事の一部は、その論点を明確にしようとしているのです。ニュースサイクルの一部ではない出来事もあります。それはパラダイムの変化に属し、やがてパターンとなるものです。そして、これはその一部なのです。だから、場違いな冗談を言って部屋を出て行き、まるでショーのように振る舞い、「いやいや、世界にはリーダーシップの空白がある。ヨーロッパ人がそれを埋めるだろう」などと言うことはできません。失礼ですが、自分自身の空白すら埋められないのに。

#M2

ヨーロッパ人は自分たちの空白さえ埋めることができないんですよ、そうです。

#M3

素晴らしいですね。彼らを変えてください。変えてください。彼らは適任ではありません。彼らにはリーダーシップがありません。アメリカ副大統領の前でリーダーシップを取ることを拒否しました。リーダーシップを取ることを拒否したのです。今やそれが分かりました。そして、数日前のようにフィリピンに行くと、カイジャカラーヨーロッパでは誰も知りませんよね？ 誰も知りません。マニラで彼女はフェルディナンドマルコス大統領、ボンボンマルコス、そしてマナロ外相と会っています。そして彼女は「私たちヨーロッパは、中国、強圧的な中国に対抗するフィリピンの闘いを支援します」と言うのです。どうやってフィリピンを助けるつもりですか？ どうやって？ なぜ彼らの目の前で嘘をつくのですか？ なぜそんなことをするのですか？ J.D.バンスに面と向かって答えることすらできないのに、フィリピンに部隊を派遣するつもりですか…南シナ海、西フィリピン海での見せかけのために、何を守るために？ お願いします、誰が彼らに助言しているのですか？ 誰がこうした考えの背後にいるのですか？ 彼ら自身の考えはあるのでしょうか？ 驚くべきことです。

#M2

彼らは自分たちの物語を本気で信じていると思います。カヤカラスは、おそらく自分が言えば何でも真実になると信じているのでしょう。彼女の口から出れば、それが現実になる。というのも、ここ3年間、次の制裁パッケージでロシアは崩壊する、ロシアはひざまずく、という話をずっと聞かされてきました。そして、制裁パッケージが出るたびに、次の制裁の準備をしている。もうこの時点で滑稽ですよ。レトリックが現実とまったく合っていないのは明らかです。でも、この種の人々、つまり行政官僚やテクノクラート、カヤカラスやフォンデアライエンのような人たちは、それに気づいていないようです。彼らは操り人形のような世界に生きていて、それが世界の仕組みだと思い込んでいる。それが心理的なレベルで私が説明できる唯一の理由です。

#M3

そうです。ベルレモンはバブルであり、それは事実として私たちも知っていますよね？ ここはバブルで、あなたはそのバブルの中で生きている。そして明らかに、ヨーロッパでは、特に小さな国から来た人なら、あなたは「誰か」なんです。エストニアは人口140万人くらいだと思います。でも今日は4億5千万人を代表しているんですよ？ つまり、あなたはフィールドを変えている、レイヤーを変えているということです。本来なら違うことをしなければならないはずなのに、残念ながら、政治の世界にいた私の感覚として—これはあなたの発言そのものというより感覚ですが—彼らは自分たちをととても重要だと思い込んでいる。お互いを知っていることに満足し、自分が生まれてきたことを喜び、そして自分たちが物事を変えていると信じている。まあ、確かに物事は変わっている—すべての戦争のようにね？ だから、良くないんです。そして今、あなたはロシアへの制裁について話している。

それで…ええと、今までにいくつの制裁パッケージがあったんだろう？ 二十パッケージ？ 十八、十九、二十パッケージ？ 香港でのことを思い出します——私はここでとても幸運です。なぜなら、多くの人々に出会うことができるからです。ここは多くの人が行き来するハブですから。そして2022年に、ノーベル経済学賞受賞者のマイクスペンス氏が来たときのことを覚えています。私はその講演に参加する機会がありました。彼は私たちと3時間ほど、少人数で一緒に過ごしてくれました。そのとき私は彼に質問しました。なぜなら、彼がロシアへの制裁について初期から執筆していたことを知っていたからです。「このことについてどう思いますか？」と。なぜなら、うまくいっていなかったからです。

彼の答えは、「当時はそれが機能しないとは想像できなかった。しかし今では、それが機能しないことを知っている」というものでした。つまり、欧州連合は2022年の時点で、戦略的でウクライナ戦争を終わらせるための措置とされたものが、実際には効果がなかったことを認識しているのです。では、2025年になっても、なぜ何度も何度も制裁を繰り返しているのでしょうか？ しかも今や、あなた方自身のヨーロッパ市民にまで——失礼ですが——ドイツ人があなた方の見解に同調しないからといって制裁を科しているのですか？ 教授、私たちがこの対談を主催したことで、あるいは批判的な立場を取ったことで、私やあなたが制裁される可能性はありませんか？ あり得ますよね？ アジアでのレッドラインは分かっていますが、今やヨーロッパでもレッドラインを心配しなければならないのでしょうか？

#M2

何が起きているのか？ それがメッセージです。それが本当のメッセージです。そしてカヤカラスはこのメッセージを非常に明確に発信しています。ただ、それを公にしているだけです。そして彼らはさらに結びつけています…制裁対象となった人物の一人はドイツに住んでいて、ロシアを批判したわけでも、ロシアに関する活動をしたわけでもなく、イスラエルとガザに批判的だっただけです。その人も制裁されています。これは非常に明確なメッセージです。そしてそのメッセージは外部に向けられたものではなく、内部に向けられたものです。そして本当に、これが現実には起きていることだというのは、ますます懸念すべきことになっています。

#M3

まさにその通りです。プーチンや彼のオリガルヒに制裁を科すのと、自国民に制裁を科すのは全く別の話です。裁判もなく、権利もなく、訴えることもできずに自国民を制裁するのは、完全な敗北です。それは全く別の問題です。これは再び警告のサインですよ？ 欧州連合の機関が自国民を尊重しなくなった時点で、正当性を失っているのではないのでしょうか？ その通りです。裁判なしに自国民に制裁を科すようなブロックは、もはや民主主義や人権、権力分立の基本を守っているとは言えませんよね？ それは、彼らが抵抗すると主張している体制を模倣しているだけです。

#M2

そしてご存知の通り、この一連の出来事で最も注目すべき点は、カヤカラスが元々ソビエト市民として生まれ、共産党の官僚の娘であったということです。そうですね？ そして今や、ソビエト共産党の官僚の娘がEU内部からEU市民に制裁を科しているのです。これが現状です。しかし、ヨーロッパの人々はそれに気づいていません。

#M3

つまり、あなたが話の中で展開していたように、もし評議会の決定が全会一致でなされるという意味なら、そうですね。ええ。だから、それを超えているんです。つまり、カヤカラスが提案している

ことですが、それを超えているのは、ブリュッセルだけでなく、27カ国がロシアの政府関係者や戦争犯罪人だけを標的にしているのではなく、自国民にも制裁を科しているからです。これはすべてを変えてしまいます。彼らが自分たちが何をしているのか本当に分かっているのか、私は疑問に思います。なぜなら、私たちは外国の侵略者を標的にするところから、ヨーロッパ在住者を罰する段階に進化してしまったからです。残虐な戦争に資金を提供するロシアのエリートに制裁を科することはできませんが、今回の決定では、ヨーロッパに住む一般市民を、刑事裁判もなく、判決もなく、適正手続きの権利もなく、無罪推定もなく、何の根拠もなく標的にしているのです。

#M2

しかし、ここで疑問が生じます。彼らは本当に自分たちが承認した内容を読んだのでしょうか？ というのも、カヤカラスとそのチームが制裁リスト、つまりパッケージをまとめたわけですね。そしてそのパッケージが27カ国に提示され、27カ国はその全体パッケージに対して「イエス」か「ノー」しか言えないんです。そうでなければ、再交渉をしなければならなくなりますから。

#M3

彼らがそれを読んだのは分かっています。分かっています。「ノー」と言ってください。「ノー」と言ってください。彼女はそれを変えるでしょう。信じてください。これが政治です。「ノー」と言ってください。これは受け入れられません。自国民の名前を公にし、彼らを禁止し、資産を凍結することはできません。これは民主的な立場ではありません。むしろ、欧州連合が日々反対していると公言している体制の手法に近いものです。では今、欧州連合の外交政策は自国民に対して、国内の異論や批判者に対して武器化されるのでしょうか？

#M2

冗談でしょう？ もちろんです。つまり、もう明らかですよ。私にとっては、これらのツールが今や内向きに使われ始めているのは疑いようがありません。なぜなら、すでにその兆候が見られるからです。ルーマニアの選挙で起きたことを見ればわかりますし、フランスのマリーヌルペンに起きていることもそうです。私は彼らの支持者ではありませんが、特定の政治的アクターが今、政治の場から排除されつつあり、異論もまた排除され、ロシアトゥデイもブロックされている。まるでサラミのように、一步一步、少しずつ切り取られていく。サラミがどんどん薄くなり、運動もどんどん小さくなっていく。私たちはその過程の真っ只中にいるのです。

#M3

はい、それは良い例ですね。ルーマニアの選挙のことです。私たちは選ばれたその人物が好きではありません。彼のことが気に入らない。だから、私たちは民主的な手段を使って反民主的なことをします。ルーマニアの人々はその人物を選んだのに、「いや、TikTokが偽情報を拡散していた」と言うんです。失礼ですが、今の時代、人々はTikTokやInstagram、Twitterなどを自分で確認できないのでしょうか？ 「TikTokが...」と。ルーマニアには今日、インターネット上の動画を確認する権利があるのか、ないのか？ そして、これが投票に影響を与えていたと。私も多くの政治キャンペーン、選挙キャンペーンに参加してきました。やろうとすることは、常に人々の考えに影響を与えて票を得ることです。

それで今、あなたは「この男は反ヨーロッパ的だ、彼を終わらせよう」と言うわけです。そして彼らはそのためにルーマニア最高裁判所を利用しました。最後の例として、元ドイツ首相、すみません、名前は何でしたっけ？ ショルツ。ショルツです。彼の最後の措置は、自分の政党である社会党よりも選挙で良い結果を出していた別の政党について、秘密情報機関の報告書を公開することでした。そう

ですよね？ 本当にこんなことが今のヨーロッパで起きているのでしょうか？ 私たちはアジアで「民主主義は他のどの体制よりも優れていて、権力分立が機能しているから私たちは偉大で、他は劣っている」などと道徳的に説教しているのではないのでしょうか？ こうしたことがヨーロッパで起きているのです。私の見方では、あなたたちは民主的な手段を反民主的な目的のために使っているのです。

#M2

そうですね、同感です。これが今まさに起きていることです。そして残念ながら、この流れが別の方向に変わるとは思えません。でも、そろそろ1時間になりますね、セバスチャン。あなたの記事をもっと読みたい人は、Substackで見つけられますよね？他にどこを見ればいいのでしょうか？

#M3

私はSubstackを持っていません。それはとても良いことです、教授。ええ、ええ、ええ。みなさん、私の記事を読まなければなりません。基本的には、私は3つか4つの媒体で発表しています。例えば、サウスチャイナモーニングポストや、シンクタンクの「China-US Focus」という出版物などです。そして、あなたが読んだ記事はアジアタイムズに掲載されたものでした。でも、Google Scholarで検索すれば、私の多くの記事が見つかると思います。タイトルを見れば内容がだいたい分かるようになっています。そして、私は多くの方々と連絡を取り合っているのです、もし誰かが連絡を取りたい場合は、喜んで対応しますし、またいつでもあなたの番組に参加したいと思っています。

#M2

どうもありがとうございました。リンクは下の説明欄に載せるようにします。セバスティアンコンティンさん、本日はお時間をいただき本当にありがとうございました。ありがとうございます。パスカルさんも、ありがとうございました。